

CA Clarity™ PPM

PMO アクセラレータ リリース ノート - オンプレミス



リリース 03.3.00

このドキュメント（組み込みヘルプシステムおよび電子的に配布される資料を含む、以下「本ドキュメント」）は、お客様への情報提供のみを目的としたもので、日本 CA 株式会社（以下「CA」）により随時、変更または撤回されることがあります。本ドキュメントは、CA が知的財産権を有する機密情報であり、CA の事前の書面による承諾を受けずに本書の全部または一部を複写、譲渡、変更、開示、修正、複製することはできません。

本ドキュメントで言及されている CA ソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを妥当な部数だけ作成できます。ただし、CA のすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本ドキュメントを印刷するまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、上記のライセンスが終了した場合には、お客様は本ドキュメントの全部または一部と、それらを複製したコピーのすべてを破棄したことを、CA に文書で証明する責任を負います。

準拠法により認められる限り、CA は本ドキュメントを現状有姿のまま提供し、商品性、特定の使用目的に対する適合性、他者の権利に対して侵害のないことについて、黙示の保証も含めいかなる保証もしません。また、本ドキュメントの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の喪失等、いかなる損害（直接損害か間接損害かを問いません）が発生しても、CA はお客様または第三者に対し責任を負いません。CA がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本ドキュメントで参照されているすべてのソフトウェア製品の使用には、該当するライセンス契約が適用され、当該ライセンス契約はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本書の制作者は CA および CA Inc. です。

「制限された権利」のもとでの提供：アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14 及び 52.227-19(c)(1)及び(2)、ならびに DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

Copyright © 2013 CA. All rights reserved. 本書に記載されたすべての商標、商号、サービス・マークおよびロゴは、それぞれの各社に帰属します。

CA への連絡先

テクニカル サポートの詳細については、弊社テクニカル サポートの Web サイト (<http://www.ca.com/jp/support/>) をご覧ください。

目次

第 1 章：PMO アクセラレータへようこそ	7
リリース 3.3 の新機能	8
新しいポートレットと強化されたポートレット	9
属性の上書き	12
ビュー保護	13
サポート対象外となったポートレットおよびクエリ	19
 第 2 章：インストール情報	 21
アドインのインストール	21
自動的に適用されるアドイン項目	23
アドイン項目の確認	33
アドイン項目の適用	35
CA ベスト プラクティス アクセラレータ	37
PMO アクセラレータ サンプル データのインストール	38
 第 3 章：認定およびサポートされているバージョン	 41
 第 4 章：ローカライゼーション	 43
 第 5 章：ドキュメント	 45
 第 6 章：追加リソース	 47
既知の問題	47
テクニカル サポートへのお問い合わせ	47
 第 7 章：アップグレード情報	 49
PMO リリース 3.2 から PMO リリース 3.3 へのアップグレード	49

第 1 章：PMO アクセラレータへようこそ

CA Clarity PMO アクセラレータ リリース 3.3 アドイン（PMO アクセラレータ）のリリース ノートへようこそ。このアドインは、CA Clarity Project & Portfolio Manager（CA Clarity PPM）リリース 13.3 に基づいています。このドキュメントは、アドインの使用を開始する場合に役立ちます。

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[リリース 3.3 の新機能](#) (P. 8)

[新しいポートレットと強化されたポートレット](#) (P. 9)

[属性の上書き](#) (P. 12)

[ビュー保護](#) (P. 13)

[サポート対象外となったポートレットおよびクエリ](#) (P. 19)

リリース 3.3 の新機能

このバージョンでは、以下の新機能および拡張機能を利用できます。

- アイデア ビューには、CA Clarity PPM リリース 13.3 で導入された新しい会計設定が含まれます。新しい会計設定は、アイデアの [設定] プロパティ ページに表示されます。
- アイデアの利益計画詳細ビューには、利益クラスおよび利益サブクラスのフィールドが表示されます。
- アイデア以外の投資の場合、コストおよび利益計画の詳細ビューには、整合性を改善するために名前を変更するフィールドがあります。
- プログラム ビューには、[作業ステータス] フィールドおよび [ステータス レポート] フィールドが表示されるようになっています。これらのフィールドはプログラムの [要約] プロパティに表示されます。
- [概要: プロジェクト ダッシュボード] ページには、[スケジュール ダッシュボード] および [コストと工数ダッシュボード] という 2 つの新しいポートレットが含まれます。これらのポートレットは、[プロジェクト マネージャ スケジュール ダッシュボード] ポートレット および [プロジェクト マネージャ コストと工数ダッシュボード] ポートレットに代わるものです。
- [問題管理]、[リスク管理]、[ステータス レポート リスト]、[ステータス レポート 遅延]、[ステータス レポート 不足] の各ポートレットでは、[プログラムを含める] フィルタ オプションを使用できます。
- [ダッシュボード] メニュー セクションは、ナビゲーション メニューの最後の [カスタム オブジェクト] セクションの前に表示されるように移動されました。[ポートフォリオ ダッシュボード] メニュー項目は [ポートフォリオ管理] メニュー セクションから [ダッシュボード] セクションに移動されました。
- アクセス グループは、アイデアおよびその他の非プロジェクト投資タイプの会計設定権限が含まれるように更新されました。アクセス グループには、アイデア コストおよび利益計画の権限も含まれます。
- ポートレット クエリのパフォーマンス向上。
- 18 言語の全面的なローカライゼーション サポート。

新しいポートレットと強化されたポートレット

リリース 3.3 では、以下のポートレットが追加または強化されました。これらのポートレットの詳細な説明については、[PMO アクセラレータ製品ガイド] を参照してください。

ポートレット名	新規	強化	変更なし
トランザクション タイプ別実績値			X
資本および業務予算 vs 予測			X
資本および業務コストの要約			X
コストと工数ダッシュボード	X		
コストとスケジュールの概要			X
現在の問題			X
現在の問題のリスト			X
フェーズ別アーン ド バリュ ー 分析			X
投資コストとロール需要			X
期間別投資コスト			X
投資会計要約			X
期間別投資計画			X
投資スケジュール			X
投資タイムシートのレビュー			X
投資タイムシートの要約			X
問題管理		X	
問題の優先度別表示			X
問題リスト		X	
ステータス レポート 遅延		X	
遅延タスクとマイルストーン		X	
マイルストーン			X
ステータス レポート 欠如		X	

新しいポートレットと強化されたポートレット

ポートレット名	新規	強化	変更なし
マイ タイムシート			X
概要プログラム フィルタ			X
概要プロジェクト フィルタ			X
概要スポンサー フィルタ			X
未確定の見積もりのレビュー		X	
ゴール別計画コスト			X
プロジェクト タイプ別計画コスト			X
ウォーターライン別計画コスト			X
ポートフォリオ資本および業務コスト分析			X
ポートフォリオ資本および業務コスト			X
ポートフォリオのコストと利益の分析			X
全体的な健全性別のポートフォリオ コスト			X
ポートフォリオ コスト			X
ポートフォリオ ダッシュボード フィルタ			X
承認別ポートフォリオ投資数			X
ゴール別ポートフォリオ投資数			X
タイプ別ポートフォリオ投資数			X
ウォーターライン別ポートフォリオ投資数			X
作業ステータス別ポートフォリオ投資数			X
ポートフォリオ投資ダッシュボード フィルタ			X
ゴール別ポートフォリオ計画コスト			X
ゴール別ポートフォリオ計画 NPV			X
ポートフォリオ ロール分析			X
ゴール別ポートフォリオ ロール需要			X
ポートフォリオ ロール			X
ポスト済みトランザクション レビュー (投資)		X	
ポスト済みトランザクション レビュー		X	

ポートレット名	新規	強化	変更なし
プロセス ボトルネック			X
プログラム マネージャ コスト ダッシュボード			X
プログラム マネージャ スケジュール ダッシュボード			X
プロジェクト分析			X
プロジェクト ベースライン		X	
フェーズ別プロジェクト コスト			X
リソース別プロジェクト コスト			X
タスク別プロジェクト コスト			X
プロジェクト サイクル時間分析			X
プロジェクト ドキュメント レビュー			X
プロジェクト インジケータ			X
OBS 別のプロジェクト KPI			X
プロジェクト ライフサイクルのレビュー		X	
プロジェクト スケジュール			X
リソース稼働ステータス		X	
月別リソース稼働率パーセント		X	
リスク管理		X	
ロールのキャパシティと需要			X
ロールのキャパシティと需要ヒストグラム			X
ゴール別ロール需要			X
ウォーターライン別ロール需要			X
スケジュールと進捗ステータス			X
スケジュール ダッシュボード	X		
スケジュール パフォーマンス			X
スケジュール パフォーマンスの詳細			X
スタッフ配置			X

ポートレット名	新規	強化	変更なし
スタッフ割り当て			X
ステータス レポート インジケータ			X
ステータス レポート リスト		X	
[ステータス レポート レビュー] フィルタ			X
チーム キャパシティ		X	
チーム メンバー タスク要約			X
チーム稼動ステータス		X	
タイムシート メモ			X
タイムシートの概要フィルタ			X
タイムシートのレビュー			X
今後のマイルストーン			X

属性の上書き

以前のバージョンの PMO アクセラレータ によってインストールされた属性は、PMO アクセラレータ の上位バージョンへのアップグレード時に上書きされます。名前、計算属性の式、または表示マッピングを変更して、これらの属性を設定している場合、設定が上書きされるため、アップグレード後に手動で再度設定を行う必要があります。これらの属性は、投資、プロジェクト、およびステータス レポート オブジェクト上にあります。アップグレード時に上書きされる項目の一覧については、「[自動的に適用されるアドイン項目](#) (P. 23)」を参照してください。

ビュー保護

ビューまたはビューを設定していた別のインストール済みアドインを、以前に **Studio** を使用して設定してあった場合、これらの設定は **PMO アクセラレータ** アドインをインストールしてもそのまま残ります。インストール時に新しい内容または変更された内容で上書きされません。既存の設定を手動で変更するか、または **PMO アクセラレータ** で提供される新しい内容を適用するかを決定できます。

このアドインによってインストールされたビューの変更を適用する方法については、「[アドイン項目の適用](#) (P. 35)」を参照してください。

以下の表に、**PMO リリース 3.3** で変更されたすべてのビューを示します。この情報で、既存のビューに手動で変更を加えるか、新しいビューを適用するかを決定できます。

オブジェクト名	表示	新規	強化	変更なし
アプリケーション	アプリケーションのプロパティ			X
	アプリケーション リスト			X
	アプリケーション フィルタ			X
資産	資産のプロパティ			X
	資産リスト			X
	資産フィルタ			X
割り当て	割り当てのプロパティ			X
	タスク割り当てリスト		X	
ベースライン	ベースライン リビジョンのプロパティ			X
	ベースライン リビジョン リスト			X
	ベースライン リビジョン フィルタ			X
利益計画	利益計画プロパティ			X

オブジェクト名	表示	新規	強化	変更なし
	利益計画リスト			X
	利益計画フィルタ			X
利益計画の詳細	利益計画の詳細プロパティ			X
	利益計画の詳細リスト		X	
	アイデア利益計画の詳細リスト	X		
	利益計画の詳細フィルタ		X	
	アイデア利益計画の詳細フィルタ	X		
変更	変更プロパティ			X
	変更リスト			X
	変更フィルタ			X
コスト計画	コスト計画プロパティ			X
	コスト計画リスト			X
	コスト計画フィルタ			X
	予算リスト			X
	予算フィルタ			X
コスト計画の詳細	コスト計画の詳細のプロパティ			X
	アイデア コスト計画請求の詳細リスト	X		
	コスト計画の詳細リスト		X	
	コスト計画の詳細フィルタ		X	
	予算計画の詳細フィルタ		X	
総勘定元帳配置	総勘定元帳配置借方プロパティ			X
	借方ルール リスト			X
	借方ルール フィルタ			X

オブジェクト名	表示	新規	強化	変更なし
	標準ルール借方プロパティ			X
	標準ルール リスト			X
	標準ルール フィルタ			X
総勘定元帳配置の詳細	間接費ルールの詳細プロパティ			X
	間接費ルールの詳細リスト			X
	間接費ルールの詳細フィルタ			X
	借方ルールの詳細リスト			X
	標準ルールの詳細リスト			X
アイデア	アイデアのプロパティ		X	
	アイデア リスト			X
	アイデア フィルタ			X
問題	問題のプロパティ			X
	問題リスト			X
	問題フィルタ			X
	関連問題リスト		X	
他の作業	他の作業プロパティ			X
	他の作業リスト			X
	他の作業フィルタ			X
製品	製品のプロパティ			X
	製品リスト			X
	製品フィルタ			X
プロジェクト	プロジェクトのプロパティ			X
	プロジェクト リスト			X
	プロジェクト フィルタ			X
	プログラムのプロパティ		X	
	プログラム リスト			X

オブジェクト名	表示	新規	強化	変更なし
	プログラム フィルタ			X
	担当プロジェクト			X
	サブプロジェクト選択リスト			X
	サブプロジェクト選択フィルタ			X
	プロジェクト テンプレート フィルタ			X
	プロジェクト リリース フィルタ			X
	プロジェクト要件フィルタ			X
リソース	リソース労働プロパティ			X
	リソース備品プロパティ			X
	リソース資材プロパティ			X
	リソース経費プロパティ			X
	ロールの労働プロパティ			X
	ロールの備品プロパティ			X
	ロールの資材プロパティ			X
	ロールの経費プロパティ			X
	リソース リスト			X
	リソース フィルタ			X
	リソースの選択リスト			X
	リソース選択リスト			X
	リソース ファインダ リスト			X
	部門リソース リスト			X
	リソースの選択フィルタ			X
	リソース選択フィルタ			X
	リソース ファインダ フィルタ			X

オブジェクト名	表示	新規	強化	変更なし
	部門のリソース フィルタ			X
リソース貸方	リソース貸方			X
	リソース貸方リスト			X
	リソース貸方フィルタ			X
リソース貸方詳細	リソース貸方詳細リスト			X
リスク	リスクのプロパティ			X
	リスク リスト			X
	リスク フィルタ			X
	関連リスク リスト		X	
サービス	サービス プロパティ			X
	サービス リスト			X
	サービス フィルタ			X
	サービス加入リスト			X
	サービス加入フィルタ			X
	サービス加入リスト (追加)			X
	サービス加入フィルタ (追加)			X
ステータス レポー ト	ステータス レポートのプロ パティ			X
	ステータス レポート リスト			X
	ステータス レポート フィル タ			X
タスク	タスクのプロパティ			X
	タスク リスト			X
	タスク フィルタ			X
	関連付けタスク リスト			X
	ガント リスト		X	
	タスク リソース稼働ステー タス リスト			X

オブジェクト名	表示	新規	強化	変更なし
	プロジェクト要件タスク リスト			X
	タスクの選択リスト			X
	関連付けタスク フィルタ			X
	ガント フィルタ			X
	タスク リソース稼働ステータス フィルタ			X
チーム	スタッフ メンバのプロパティ			X
	プロジェクト チーム スタッフリスト			X
	プロジェクト チーム詳細リスト			X
	チーム スタッフリスト (投資)			X
	チーム詳細リスト (投資)			X
	リソース配置リスト			X
	リソース配置詳細リスト			X
	チーム選択リスト			X
	プロジェクト チーム フィルタ			X
	チーム フィルタ			X
	リソース配置フィルタ			X
	リソース選択フィルタ			X

サポート対象外となったポートレットおよびクエリ

以下のポートレットは、PMO アクセラレータ リリース 3.3 から削除され、サポートされなくなりました。

- プロジェクトマネージャ コストと工数ダッシュボード
(ID : cop.projectManagerCostDashboard)
- プロジェクトマネージャ スケジュール ダッシュボード
(ID : cop.projectManagerScheduleDashboard)
- [スタッフ割り当て見通し] ポートレット (ID : cop.staffing)
- [今後のマイルストーン] ポートレット (ID : dashboardMilestones)

以下のクエリは、PMO アクセラレータ リリース 3.3 から削除され、サポートされなくなりました。

- プロジェクトマネージャ スケジュール ダッシュボード (ID : cop.projectScheduleDashboard)
- スタッフ割り当て見通し (ID : cop.staffing)

第 2 章：インストール情報

アドインのインストール

ユーザがコンテンツを利用できるように、CA Clarity アプリケーション サーバに PMO アクセラレータ アドインをインストールします。PMO アクセラレータ アドインは CA Clarity PPM 製品に含まれており、インストールできる状態になっています。PMO アクセラレータ リリース 3.2 より前のリリースでは、サポート サイトからアドイン インストーラをダウンロードする必要がありましたが、これは必要なくなりました。

以前の Clarity リリースからアップグレードしており、PMO アクセラレータがインストールされている場合は、その PMO アクセラレータもアップグレードする必要があります。Clarity のバージョンでインストールする必要があるアドインのバージョンについては、認定バージョンおよびサポート対象バージョンの表を確認してください。

ベスト プラクティスとして、アドインをインストールする前に、既存の CA Clarity PPM インストール ディレクトリおよびデータベースをバックアップすることを推奨します。

以下の手順では、CA Clarity アプリケーション サーバに PMO アクセラレータ アドインをインストールする方法について説明します。

以下の手順に従います。

1. サービスの停止。
2. インストール スクリプトの実行。
3. サービスの起動。

サービスの停止。

アドインをインストールする前に、CA Clarity PPM アプリケーション (app) および CA Clarity PPM バックグラウンド (bg) サービスを停止します。サービスは Clarity システム管理から停止します。CA Clarity PPM サービスの停止については、「CA Clarity PPM インストールガイド」を参照してください。

インストール スクリプトの実行

以下の手順では、ルックアップ、クエリ、ポートレット、ページ、ビュー、プロセス、グループ、リソース ロール、プロジェクト テンプレートおよびデータベース オブジェクトをインストールします。

重要： このアドインをインストールする前に、CA Clarity PPM インストールをバックアップし、必要に応じてアプリケーションを前のバージョンに復元できるようにします。アドインをインストールすると、アンインストールすることはできません。

以下の手順に従います。

1. コマンドプロンプトを開き、CA Clarity PPM runtime bin ディレクトリに移動します。
2. 以下のコマンドを入力します。

```
admin content csk
```

インストールプロセスが開始され、画面に情報が表示されます。これらの情報はキャプチャされ、ログ ディレクトリにある `admin.log` ファイル内に格納されます。出力ファイルは `logs/content/xog/csk` ディレクトリに格納されます。

3. インストールが完了したら、画面の出力やログに重要な情報がないかどうかを確認します。

サービスの起動

アドインをインストールした後、CA Clarity アプリケーション (app) サービスと CA Clarity バックグラウンド (bg) サービスを開始します。サービスは Clarity システム管理から起動します。CA Clarity サービスの開始については、「*CA Clarity PPM インストールガイド*」を参照してください。

自動的に適用されるアドイン項目

以下の項目について PMO アクセラレータによってインストールされた内容を以前に設定している場合、この設定は保持されません。これらはインストール時またはアップグレード時に上書きされます。これらの項目は、変更を適用するために必要であるため、各 PMO リリースで強制的にインストールされます。テーブルの説明列では、非オブジェクト変更に対して項目の変更が含まれるようになった最初のリリースが示されています

名前	タイプ	説明
投資	オブジェクト	このアイテムは、次の属性および対応する表示マッピングが投資オブジェクトに確実にインストールされるように強制的にインストールされます：[アーキテクチャの適合度]、[BTM 統合]、[ビジネス整合性]、[ビジネスユニット優先度]、[商品価値]、[企業優先度]、[ポートフォリオカテゴリ 1]、[ポートフォリオカテゴリ 2]、[ポートフォリオカテゴリ 3]、[ポートフォリオカテゴリ 4]、[法的遵守性]、[テクノロジー準拠性]、および[作業ステータス]。 また、CA Clarity PPM でインストールされる次の属性の表示マッピングも含まれます：[進捗ステータス]および[ステータスインジケータ]。

名前	タイプ	説明
プロジェクト	オブジェクト	このアイテムは、次の属性および対応する表示マッピングがプロジェクト オブジェクトに確実にインストールされるように強制的にインストールされます: [ビジネス オーナー]、[コスト差異 (%)]、[予想要因 1]、[予想要因 2]、[会計とガバナンス]、[目標]、[プロジェクト カテゴリ]、[予測コスト差異]、[予測コスト差異 (%)]、[予測工数差異]、[予測工数差異 (%)]、[プロジェクト マネジメント オフィス]、[プロジェクト テンプレート]、[プロジェクト タイプ]、[ベースライン スケジュール]、[スケジュール差異 (%)]、および [ステータス レポート]。 また、CA Clarity PPM でインストールされる [リスク] 属性の表示マッピングも含まれます。
ステータス レポート	オブジェクト	このアイテムは、ステータス レポート オブジェクト全体が PMO アクセラレータ と共に確実にインストールされるように強制的にインストールされます。その属性のすべての変更および対応するすべての表示マッピングが、インストール時に上書きされます。これにはオブジェクト ビューは含まれません。つまり、オブジェクト ビューは上書きされません。
PMO - プロジェクト ステータス	ページ	PMO バージョン 3.0 : このアイテムは、ページ レイアウトが PMO アクセラレータ と共に確実にインストールされるように強制的にインストールされます。次のポートレットが含まれます: [プロジェクト インジケータ]、[今後のマイルストーン]、[プロジェクト ベースライン]、[ステータス レポート インジケータ]、[トランザクション タイプ別実績値]、および [チーム稼働ステータス]。

名前	タイプ	説明
トランザクションタイプ別実績値	ポートレット	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、そのクエリ プロバイダへの変更がポートレットに確実に反映されるように、強制的にインストールされます。クエリ プロバイダの変更は、パフォーマンスを向上させるために行われました。これらのパフォーマンス向上の結果として、以下の列がポートレット設定で使用できなくなりました：[残りの金額]、[請求]、[請求コード]、[登録日]、[投資オブジェクト コード]、[プロジェクト]、[プロジェクトの部門]、[プロジェクト エンティティ]、[プロジェクト ID]、[プロジェクト内部 ID]、[プロジェクトの場所]、[リソース部門]、[リソース エンティティ]、[リソース内部 ID]、[リソースの場所]、[タスク内部 ID]、[トランザクションクラス]、[トランザクション内部 ID]、[トランザクションタイプ]、および[WBS シーケンス]。また、集計行も削除されました。 ポートレットは、Excel への詳細行のエクスポートをサポートできるように機能強化されました。 ポートレットには、[トランザクション] / [リソース] / [日付] 列に続いてグリッドに表示される 2 つのプレースホルダ列があります。ポートレットが Excel にエクスポートされないと、これらのプレースホルダ列にはデータが表示されません。ポートレットが Excel にエクスポートされると、リソース名およびトランザクション日がプレースホルダ列に表示されます。
コストとスケジュールの概要	ポートレット	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、そのクエリ プロバイダへの変更がポートレットに確実に反映されるように、強制的にインストールされます。[プロパティ] アイコンは[ダッシュボード] アイコンによって置き換えられ、プロジェクトダッシュボードにリンクしています。[プロジェクト] 列は、プロジェクトプロパティ ページにリンクするようになりました。[計画資本コスト]、[計画資本コスト(%)]、[計画業務コスト]、および[計画業務コスト(%)] 列は、このポートレットに対する設定で追加できます。[実コスト] 列は[実コスト (ACWP)] に名前が変更されました。

名前	タイプ	説明
ポスト済みトランザクションレビュー	ポートレット	PMO リリース 3.3 : ポートレットに、列およびフィルタとして [コスト タイプ] が追加されました。 [請求コード] の後にあります。 PMO リリース 3.2 : このアイテムは、そのクエリ プロバイダへの変更がポートレットに確実に反映されるように、強制的にインストールされます。 [コスト タイプ] (列とフィルタ) および [入力番号] (フィルタのみ) は、このポートレットに対する設定で追加できます。 ポートレットはフィルタリングなしでは結果を表示せず、 [投資フィルタ] が必要になりました。 注: このポートレットは、メニューの [ポスト済みトランザクションレビュー] ページから使用できます。
ポスト済みトランザクションレビュー	ポートレット	PMO リリース 3.3 : ポートレットに、列およびフィルタとして [コスト タイプ] が追加されました。 [請求コード] の後にあります。 PMO リリース 3.2 : このアイテムは、そのクエリ プロバイダへの変更がポートレットに確実に反映されるように、強制的にインストールされます。 [コスト タイプ] (列とフィルタ) および [入力番号] (フィルタのみ) は、このポートレットに対する設定で追加できます。 注: このポートレットは、コスト計画詳細オブジェクトアクションとして使用できます。
プログラムマネージャコストダッシュボード	ポートレット	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、そのクエリ プロバイダへの変更がポートレットに確実に反映されるように、強制的にインストールされます。 [プロパティ] アイコンは [ダッシュボード] アイコンによって置き換えられ、プロジェクトダッシュボードにリンクしています。 [プロジェクト] 列は、プロジェクトプロパティ ページにリンクするようになりました。 [計画資本コスト]、 [計画資本コスト (%)]、 [計画業務コスト]、および [計画業務コスト (%)] 列は、このポートレットに対する設定で追加できます。 [実コスト] 列は [実コスト (ACWP)] に名前が変更されました。

名前	タイプ	説明
スケジュールと進捗ステータス	ポートレット	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、そのクエリ プロバイダへの変更がポートレットに確実に反映されるように、強制的にインストールされます。 [計画資本コスト] および [計画業務コスト] メトリックは、このポートレットに対する設定で追加できます。
チームメンバー タス 요약	ポートレット	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、そのクエリ プロバイダへの変更がポートレットに確実に反映されるように、強制的にインストールされます。 [プロパティ] アイコンは [ダッシュボード] アイコンによって置き換えられ、プロジェクト ダッシュボードにリンクしています。 [プロジェクト] 列は、プロジェクト プロパティ ページにリンクするようになりました。 タスクにガイドラインとして有効な URL が含まれているか、またはサイトでガイドラインがセットアップされている場合、ポートレットにはガイドライン アイコンが表示されるようになりました。
トランザクション タイプ別実績値	クエリ	PMO リリース 3.2 : パフォーマンス向上は、このクエリ プロバイダに対して行われました。 これらのパフォーマンス向上の結果として、以下の列がクエリから削除されました: [残りの金額]、[請求]、[請求コード]、[登録日]、[投資オブジェクトコード]、[プロジェクト]、[プロジェクトの部門]、[プロジェクト エンティティ]、[プロジェクト ID]、[プロジェクト内部 ID]、[プロジェクトの場所]、[リソース部門]、[リソース エンティティ]、[リソース内部 ID]、[リソースの場所]、[タスク内部 ID]、[トランザクション クラス]、[トランザクション内部 ID]、[トランザクション タイプ]、[WBS シーケンス]。また、クエリも Excel への詳細行のエクスポートをサポートできるように機能強化されました。
コストと工数ダッシュボード	クエリ	PMO リリース 3.3 : これは新しいクエリです。 このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。

名前	タイプ	説明
コストとスケジュールの概要	クエリ	PMO リリース 3.2 : クエリには、[計画資本コスト]、[計画資本コスト (%)]、[計画業務コスト]、および [計画業務コスト (%)] という新しいコスト列が含まれるようになりました。また、[実コスト] 列も [実コスト (ACWP)] に名前が変更されました。
現在の問題	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
現在の問題のリスト	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
フェーズ別アードバリュー分析	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
投資リソース稼働ステータス	クエリ	PMO リリース 3.3 : クエリが変更され、CA Clarity PPM でロケール設定を変更しても、ポートレットでは正しくフォーマットされた期間が表示されます。
投資タイムシートのレビュー	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
投資タイムシートの要約	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
問題管理	クエリ	PMO リリース 3.3 : クエリには、プログラムを含めるためにフィルタ オプションがあります。既定では、このフィルタ オプションは [はい] に設定されており、プログラムの問題がポートレットに表示されることを意味します。

名前	タイプ	説明
優先度別問題	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
問題のリスト	クエリ	PMO リリース 3.3 : [投資のプロパティ] へのリンクがクエリに追加されました。
ステータス レポート遅延	クエリ	PMO リリース 3.3 : クエリには、プログラムを含めるためにフィルタ オプションがあります。既定では、このフィルタ オプションは [はい] に設定されており、プログラム遅延ステータス レポートがポートレットに表示されることを意味します。
遅延タスクとマイルストーン	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
マイルストーン	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
ステータス レポート欠如	クエリ	PMO リリース 3.3 : クエリには、プログラムを含めるためにフィルタ オプションがあります。既定では、このフィルタ オプションは [はい] に設定されており、プログラム欠如ステータス レポートがポートレットに表示されることを意味します。
保留中の見積もり	クエリ	PMO リリース 3.3 : ETC における推奨される変更がゼロに等しい場合、クエリはレコードを除外します。 PMO リリース 3.2 : クエリは、値に設定された未確定の ETC のみを含みます。未確定の ETC は、NULL である（値が入力されていない）場合、クエリ結果に含まれません。

名前	タイプ	説明
プロセス ボトルネック	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
プログラム マネージャ コスト ダッシュボード	クエリ	PMO リリース 3.2 : クエリには、[計画資本コスト]、[計画資本コスト (%)]、[計画業務コスト]、および [計画業務コスト (%)] という新しいコスト列が含まれます。また、[実コスト] 列は [実コスト (ACWP)] に名前が変更されています。
プログラム マネージャ スケジュール ダッシュボード	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
プロジェクト 分析	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
プロジェクト ベースライン	クエリ	PMO リリース 3.3 : クエリが変更され、CA Clarity PPM でロケール設定を変更しても、ポートレットでは正しくフォーマットされた期間が表示されます。クエリは SQL サーバ用に修正されており、重複したディメンションエラーを生成されなくなりました。エラーの原因はクエリ内のデータベース機能に関する問題でした。長期のベースラインを計算する機能はエラーを除去して修正されました。
フェーズ別プロジェクト コスト	クエリ	PMO リリース 3.2 : [実コスト] 列は [実コスト (ACWP)] に名前が変更されました。
リソース別プロジェクト コスト	クエリ	PMO リリース 3.2 : [実コスト] 列は [実コスト (ACWP)] に名前が変更されました。
タスク別プロジェクト コスト	クエリ	PMO リリース 3.2 : [実コスト] 列は [実コスト (ACWP)] に名前が変更されました。

名前	タイプ	説明
[プロジェクト サイクル時間分析] クエリ	クエリ	PMO リリース 3.2 : WBS にいくつかのレベル（フェーズとタスクを含む）がある場合、クエリによって、ディメンションに関する重複したデータが生成されなくなりました。
プロジェクトドキュメントレビュー	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
プロジェクトインジケータ	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
OBS 別プロジェクト KPI	クエリ	PMO リリース 3.2 : [プロジェクト詳細] 列は [プロジェクト ダッシュボード] に名前が変更されました。 マッピングは横向き矢印中間色アイコンからダッシュボードアイコンに変更されます。
プロジェクトライフサイクルのレビュー	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
リスク管理	クエリ	PMO リリース 3.3 : クエリには、プログラムを含めるためにフィルタ オプションがあります。既定では、このフィルタ オプションは [はい] に設定されており、プログラムのリスクがポートレットに表示されることを意味します。
スケジュールと進捗ステータス	クエリ	PMO リリース 3.2 : クエリには、[計画資本コスト] および [計画業務コスト] という新しいコスト列が含まれます。
スケジュールダッシュボード	クエリ	PMO リリース 3.3 : これは新しいクエリです。このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。

名前	タイプ	説明
スケジュール パフォーマンス ス	クエリ	PMO リリース 3.3 : クエリは、どの OBS ユニットにも関連付けられていないプロジェクトからのタスクを含み、[スケジュール パフォーマンス詳細] ドリルダウン ポートレットと一致する結果を表示するように変更されました。
スケジュール パフォーマンス の詳細	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
スタッフ配置	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
スタッフ割り 当て	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
ステータス レ ポート インジ ケータ	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
ステータス レ ポート リスト	クエリ	PMO リリース 3.3 : クエリには、プログラムを含めるためにフィルタ オプションがあります。既定では、このフィルタ オプションは [はい] に設定されており、プログラム ステータス レポートがポートレットに表示されることを意味します。
チーム キャパ シティ	クエリ	PMO リリース 3.3 : クエリが変更され、CA Clarity PPM でロケール設定を変更しても、ポートレットでは正しくフォーマットされた期間が表示されます。
チーム メンバ オーガナイザ	クエリ	PMO リリース 3.2 : クエリは、タスクにガイドラインとして有効な URL が含まれているか、またはサイトでガイドラインがセットアップされている場合にガイドラインアイコンを表示するように変更されています。

名前	タイプ	説明
タイムシート メモ	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
タイムシート のレビュー	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。
トランザク ション レ ビュー	クエリ	PMO リリース 3.3 : 集計機能での金額は、ディメンション プロパティからメトリックに変換されたため、パワー フィルタでは利用できなくなりました。これは、クエリ属性に集計機能があり、属性がパワー フィルタで選択されている場合、CA Clarity PPM がシステム エラーを生成するためです。 PMO リリース 3.2 : クエリには、列およびフィルタとして [コスト タイプ] が含まれます。また、パラメータ フィルタとして [入力番号] も含まれています。
今後のプロ ジェクトマイ ルストーン	クエリ	PMO リリース 3.2 : このアイテムは、PMO アクセラレータを以前のバージョンのアドインからアップグレードした際にデータベース スキーマ変更エラーが確実に回避されるように、強制的にインストールされます。

アドイン項目の確認

以下の手順では、アドイン項目を適用する前にそれを確認する方法について説明します。

次の手順に従ってください：

1. CA Clarity PPM へログインします。
2. [管理] を開き、Studio から [アドイン] を開きます。
[アドイン] ページが表示されます。

3. [アクセラレータ: プログラム マネジメント オフィス] アドイン (ID : csk) をクリックします。
[アドイン詳細] ページが表示されます。
4. インストール済みアドイン項目および新規アドイン項目への変更を確認します。

PMO アクセラレータ リリース 3.3 で更新された項目のリストについては、[「PMO リリース 3.2 から PMO リリース 3.3 へのアップグレード \(P. 49\)」](#)を参照してください。項目には、変更の説明も含まれます。

ユーザが以前にビューを設定している場合、設定は保持され、インストール中に上書きされません。ユーザは適用する新規ビューまたは更新済みビューを指定できます。新規項目または変更済み項目を選択して適用するには、Studio のアドインの詳細ページを使用します。Studio オブジェクトを適用すると、Studio オブジェクト ビューの既存の設定が上書きされます。

PMO アクセラレータ によるビューの設定方法の詳細については、「[PMO アクセラレータ製品ガイド](#)」を参照してください。

Studio の [アドイン詳細] ページには、アドインに含まれているすべての項目が一覧表示されます。このページには、以下のフィールドが表示されます。

名前

アドインの名前が、項目間の依存関係によって決定される階層として表示されます。

ステータス

アドイン項目が CA Clarity PPM で適用されるかどうかを示します。

値：

- [未インストール]。このアドインバージョンで新しく追加された項目、またはインストールまたは適用時にエラーが発生した項目。以前の Clarity リリースからのアップグレードの後に PMO アクセラレータが正しくアップグレードされていない場合は、いくつかの項目が [未インストール] として表示され、アドインをインストールする必要があることを伝えるアラートメッセージが表示されます。[更新の準備ができました] として表示されている項目を確認する前に、このアドインをインストールします。
- [更新の準備ができました]。以前のアドインバージョンから適用している項目で現在のアドインバージョンで更新されている項目、または Studio を使用して更新したビューでアドインによって更新されたビュー。

重要： 項目を適用する前に、項目に対して行った設定を考慮してください。変更された項目を適用すると、設定が上書きされます。

- [インストール済み]。インストールされている項目です。

タイプ

項目タイプを示します。

値： [オブジェクト]、[ルックアップ]、[ページ]、[タブ]、[ポートレット]、[クエリ]、[カスタム ビュー]、[メニュー]、[グループ]、[プロジェクト]、[プロセス]、[ロール]、[レポート/ジョブ]

ID

アドイン項目のコードを表示します。このコードはアドイン項目の ID です。

アドイン項目の適用

アドインの既存のインストールがある場合、または以前に CA Clarity PPM Studio オブジェクトが設定されている場合は、このセクションで記述されているステップを実行します。アドインを初めてインストールするときは、これらの手順は必要ありません。

次の手順に従ってください：

1. CA Clarity PPM へログインします。
2. [管理]を開き、Studio で [アドイン] をクリックします。
[アドイン] ページが表示されます。
3. [アクセラレータ:プログラム マネジメント オフィス] アドイン (ID : csk) をクリックします。
[アドイン詳細] ページが表示されます。
4. リスト内の項目を確認し、[更新の準備ができました] または [未インストール] である項目を選択します。

注意：既定では、現在のアドインバージョンにアップグレードするときは、新規または変更済みの項目のみがあらかじめ選択されています。項目の一部を適用しない場合は、[アドイン詳細] ページから、あらかじめ選択されている項目をすべて選択解除します。ページの上部、[名前] 列見出しの左にあるチェック ボックスを一度クリックするとすべての項目が選択され、もう一度クリックするとすべて選択解除されます。その後、適用したい項目を選択します。選択した項目と依存関係のあるその他の項目も選択されます。

PMO アクセラレータ リリース 3.3 で更新された項目のリストと各更新の説明については、「[PMO リリース 3.2 から PMO リリース 3.3 へのアップグレード \(P. 49\)](#)」を参照してください。

5. (アップグレードの場合のみ) ステータスが「更新の準備ができました」になっているアクティブなプロセス インスタンスがある場合は、それらをすべてキャンセルして削除します。

CA Clarity PPM 管理者に問い合わせるか、「管理ガイド」を参照してください。

6. [適用] をクリックします。

注意：ほかの項目に対して依存関係のある選択済み項目も更新されます。

更新された項目のリストは、確認ページまたはインストール ページに表示されます。

重要：項目を適用する前に、項目に対して行った設定を考慮してください。変更された項目を適用すると、設定が上書きされます。

7. 項目を更新またはインストールするには、[はい]をクリックします。

[確認] または [インストール] ページにリスト表示される項目がユーザによって事前に変更された場合は、更新を表示する前に、その項目がユーザに示されます。

詳細については、「*Studio 開発者ガイド*」を参照してください。

CA ベスト プラクティス アクセラレータ

PMO アクセラレータ v2.0 以降、PMO アクセラレータ アドインには、ベスト プラクティス アクセラレータ (BPA) が以前にインストールされている場合にすでに存在する可能性がある、ポートレット、プロセス、サブオブジェクト、テンプレートが含まれています。PMO アクセラレータ v1.3 からアップグレードしており、BPA をインストールしている場合は、PMO アクセラレータ リリース 3.3 へのアップグレードを管理する方法の詳細について、「*Upgrading from Clarity's Best Practices Accelerator to PMO アクセラレータ v2.1*」というドキュメントを参照してください。

PMO アクセラレータ サンプル データのインストール

PMO アクセラレータのサンプル データをインストールすると、CA Clarity PPM の機能の例を確認して使用できます。

重要： サンプル データは厳密にテストまたは開発環境向けです。 サンプル データを実稼働 CA Clarity PPM サーバにインストールしないでください。 データを含む CA Clarity PPM サーバにサンプル データをインストールすると、エラーになったり、既存のデータを上書きしたりすることがあります。 サンプル データをインストールした後は、それを削除できません。

アドイン サンプル データをインストールする前に、システム通貨を USD に設定し、CA Clarity アプリケーション (app) および CA Clarity バックグラウンド (bg) サービスを停止します。

以下の手順に従います。

1. admin として、または [会計保守 - 会計管理] および [会計保守 - FOS(会計組織構造)] グローバル アクセス権を持つ任意のユーザとして CA Clarity にログインします。
2. [管理] を開き、[会計] メニューから [セットアップ] をクリックします。
会計管理の既定値ページが表示されます。
3. 通貨に USD を選択して保存します。
4. CA Clarity システム管理にログインします。
5. [ホーム] を開き、[すべてのサービス] をクリックします。
6. CA Clarity アプリケーション (app) サービスと CA Clarity バックグラウンド (bg) のチェック ボックスをオンにします。
7. [停止] をクリックします。
8. Oracle WebLogic または IBM WebSphere を使用している場合は、アプリケーション サーバの管理コンソールを使用して、CA Clarity システム管理とアプリケーションを停止します。

詳細については、J2EE ベンダーのドキュメントを参照してください。

9. コマンドプロンプトを開き、CA Clarity PPM runtime bin ディレクトリに移動します。

10. サンプルデータをインストールするには、以下のコマンドを入力します。

```
admin content-demo csk
```

インストールプロセスが開始され、画面に情報が表示されます。出力ファイルは `logs/content/xog/csk` ディレクトリに格納されます。

11. インストールが完了したら、画面の出力やログに重要な情報がないかどうかを確認します。

第3章：認定およびサポートされているバージョン

以下の PMO アクセラレータ と CA Clarity PPM の組み合わせのみが認定およびサポートされています。この表で、正しい PMO アクセラレータ と Clarity の組み合わせがあることを確認してください。

CA Clarity のバージョン	アドインのバージョン
13.3	3.3
13.2	3.2
13.1	3.1
13.0	3.0
12.1	2.2
8.1.5/CA Clarity PPM v12.0.6	2.1.1
8.1.5/CA Clarity PPM v12.0.5	2.1
8.1.5	2.0
8.1 Service Pack 2	1.3
8.1.1	1.2

重要： PMO v1.2 から PMO v3.0 へのアップグレードは、有効なアップグレードパスではありません。PMO v1.2 をインストールしている場合は、PMO リリース 3.1 以降にアップグレードする必要があります。

PMO v1.2 より前のバージョンからアップグレードする場合は、PMO リリース 3.3 にアップグレードする前に、COP_PROJECT_ROLLOUP_V データベース ビューにパッチを適用して、PRASSIGNMENT テーブルの PRBASESUM 列への参照を削除する必要があります。パッチを入手するには、テクニカルサポートにお問い合わせください。

第 4 章：ローカライゼーション

ユーザインターフェースは、サポートされている以下の言語で利用できます。

- ポルトガル語（ブラジル）
- 中国語
- チェコ語
- デンマーク語
- オランダ語
- 英語
- フィンランド語
- フランス語
- ドイツ語
- ハンガリー語
- イタリア語
- 日本語
- ノルウェー語
- ポーランド語
- ロシア語
- 中国語（簡体字）
- スペイン語
- スウェーデン語
- トルコ語

ローカライズ済みドキュメントの最新版は、[CA サポート](#)の「ドキュメント」リンクからオンラインで利用できます。

第 5 章：ドキュメント

「PMO アクセラレータ製品ガイド」には製品概要およびインストール情報が記載されています。また、このガイドにはアドインの使用方法に関する詳細なプロセスと手順が含まれています。

「PMO アクセラレータ製品ガイド」と「リリース ノート」の最新のバージョンは、[CA サポート](#)の「ドキュメント」ページから利用可能です。ドキュメントの最新版については、この **Web** サイトに定期的にアクセスしてください。

第 6 章：追加リソース

既知の問題

既知の問題については、CA Support Online にアクセスしてキーワード「*pmo3open*」を検索してください。すべての関連記事および既知の問題が表示されます。

テクニカル サポートへのお問い合わせ

テクニカル サポートの詳細については、弊社テクニカル サポートの Web サイトをご覧ください。

Web アドレス：

<http://www.support.ca.com>

電話番号：

北アメリカ：1 888 (550) 6458

ヨーロッパ：44 08459 (888788)

アジア太平洋：61 3 (9821) 3000

第 7 章：アップグレード情報

PMO リリース 3.2 から PMO リリース 3.3 へのアップグレード

PMO リリース 3.2 がインストールされていて、PMO リリース 3.3 にアップグレードする場合は、適用されていない項目が [アドイン詳細] ページに表示されます。これらの項目のステータスには、[更新の準備ができました] と表示されます。多くの場合、項目が [更新の準備ができました] と表示される理由は、新しいアドインバージョンに含まれる項目に更新があるためです。

以下の表に、PMO リリース 3.2 が完全にインストールおよび適用され（すべてのカスタム ビューを含む）、PMO リリース 3.3 にアップグレードされたシナリオを示します。表内の項目の順序は、[アドイン詳細] ページで表示される順序と同じです。2 つ以上の依存関係を持つ項目は、表内で重複しています。これは、[アドイン詳細] ページでも同じように表示されます。

重要： 表を参照して、[更新の準備ができました] ステータスを持ったアドイン項目の適用に推奨されるアクションの説明を確認してください。更新の適用が、「強く推奨」、「推奨」、または「オプション」のいずれかを判断できます。

以下のフィールドが表に表示されます。

名前

項目名を示します。[アドイン詳細] ページの名前と同じです。

タイプ

項目タイプを示します。[アドイン詳細] ページのタイプと同じです。

値： [オブジェクト]、[ルックアップ]、[ページ]、[タブ]、[ポートレット]、[クエリ]、[カスタム ビュー]、[メニュー]、[グループ]、[プロジェクト]、[プロセス]、[ロール]、[レポート/ジョブ]

説明

更新の説明、および更新を適用する理由についての簡単な説明です。

アクション

項目に対して実行する必要があるアクションを示します。

値：

- SR。更新が強く推奨されます。これは適用する必要があります。
- R。更新が推奨されます。これは適用すべきです。
- O。更新はオプションです。カスタム ビューまたは項目を変更した場合または変更が上書きされるのを望まない場合以外は、更新の適用を推奨します。ビューの更新を適用しない場合は、変更の説明を読み、設定されたビューで手動で変更を行うことを考慮するようにしてください。

重要： 項目を適用する前に、項目に対して行った設定を考慮してください。変更された項目を適用すると、設定が上書きされます。

名前	タイプ	説明	アクション
アイデアとプロジェクトのカテゴリでパラメータ化したルックアップ	ルックアップ	ルックアップには非アクティブにされたルックアップ値は含まれなくなりました。	R
問題のリスト	ポートレット	[プロパティ] アイコンは [ダッシュボード] アイコンによって置き換えられ、プロジェクトダッシュボードにリンクしています。[プロジェクト] 列は、プロジェクトプロパティ ページにリンクするようになりました。	R
概要ページ	ページ	[プロジェクトダッシュボード] タブに対して行われた変更のため、[概要] ページは [更新の準備ができました] として表示されます。[プロジェクトダッシュボード] タブは [概要] ページの一部です。	O

名前	タイプ	説明	アクション
概要	タブ	「概要」ページの「プロジェクトダッシュボード」タブが変更されたため、「概要」タブは「更新の準備ができました」として表示されます。ページで1つのタブが変更される場合、そのページのすべてのタブは「更新の準備ができました」として表示されます。	O
スポンサー	タブ	「概要」ページの「プロジェクトダッシュボード」タブが変更されたため、「スポンサー」タブは「更新の準備ができました」として表示されます。ページで1つのタブが変更される場合、そのページのすべてのタブは「更新の準備ができました」として表示されます。	O
プログラムダッシュボード	タブ	「概要」ページの「プロジェクトダッシュボード」タブが変更されたため、「プログラムダッシュボード」タブは「更新の準備ができました」として表示されます。ページで1つのタブが変更される場合、そのページのすべてのタブは「更新の準備ができました」として表示されます。	O
PM アラート	タブ	「概要」ページの「プロジェクトダッシュボード」タブが変更されたため、「PM アラート」タブは「更新の準備ができました」として表示されます。ページで1つのタブが変更される場合、そのページのすべてのタブは「更新の準備ができました」として表示されます。	O
プロジェクトダッシュボード	タブ	「概要」ページの一部である「プロジェクトダッシュボード」タブは、新しいポートレット「スケジュールダッシュボード」および「コストと工数ダッシュボード」を表示するように変更されます。「プロジェクトマネージャ」の「スケジュールダッシュボード」ポートレットおよび「プロジェクトマネージャ」の「コストと工数ダッシュボード」ポートレット（これらは以前はこのタブに存在しました）は、サポートされなくなりました。	SR

名前	タイプ	説明	アクション
問題とリスク	タブ	「概要」ページの「プロジェクトダッシュボード」タブが変更されたため、「問題とリスク」タブは「更新の準備ができました」として表示されます。ページで1つのタブが変更される場合、そのページのすべてのタブは「更新の準備ができました」として表示されます。	O
リスク管理	ポートレット	ポートレットには、プログラムを含めるためにフィルタオプションがあります。既定では、このフィルタオプションは「はい」に設定されており、プログラムのリスクがポートレットに表示されることを意味します。	R
問題管理	ポートレット	ポートレットには、プログラムを含めるためにフィルタオプションがあります。既定では、このフィルタオプションは「はい」に設定されており、プログラムの問題がポートレットに表示されることを意味します。	R
PMO - プログラムステータス	ページ	プロジェクトプロパティにリンクしているアクションへの参照は、「メイン」から「プロジェクトのプロパティ」に名前を変更されました。	R
ダッシュボード	タブ	プロジェクトプロパティにリンクしているアクションへの参照は、「メイン」から「プロジェクトのプロパティ」に名前を変更されました。	R
リソース稼働ステータス	ポートレット	CA Clarity PPM で言語およびロケールを設定を変更しても、ポートレットでは正しくフォーマットされた期間が表示されます。	R
PMO - プロジェクトステータス	ページ	プロジェクトプロパティにリンクしているアクションへの参照は、「メイン」から「プロジェクトのプロパティ」に名前を変更されました。	R
ダッシュボード	タブ	プロジェクトプロパティにリンクしているアクションへの参照は、「メイン」から「プロジェクトのプロパティ」に名前を変更されました。	R
プロジェクトベースライン	ポートレット	CA Clarity PPM で言語およびロケールを設定を変更しても、ポートレットでは正しくフォーマットされた期間が表示されます。	R

名前	タイプ	説明	アクション
チーム稼働ステータス	ポートレット	ポートレットが変更され、[保存] ボタンは表示されなくなりました。このポートレットでは編集はサポートされていません。	R
PMO - プロジェクトストーリーボード	ページ	プロジェクトプロパティにリンクしているアクションへの参照は、[メイン] から [プロジェクトのプロパティ] に名前を変更されました。	R
ダッシュボード	タブ	プロジェクトプロパティにリンクしているアクションへの参照は、[メイン] から [プロジェクトのプロパティ] に名前を変更されました。	R
チーム キャパシティ	ポートレット	CA Clarity PPM で言語およびロケールを設定を変更しても、ポートレットでは正しくフォーマットされた期間が表示されます。 ポートレット ページ: PMO - プロジェクトストーリーボード	R
チーム キャパシティ	ポートレット	CA Clarity PPM で言語およびロケールを設定を変更しても、ポートレットでは正しくフォーマットされた期間が表示されます。 ポートレット ページ: プロジェクトストーリーボードのドリルダウン	R
ステータス レポート リスト	ポートレット	ポートレットには、プログラムを含めるためにフィルタ オプションがあります。既定では、このフィルタ オプションは [はい] に設定されており、プログラム ステータス レポートがポートレットに表示されることを意味します。	R
ステータス レポート 遅延	ポートレット	ポートレットには、プログラムを含めるためにフィルタ オプションがあります。既定では、このフィルタ オプションは [はい] に設定されており、プログラム 遅延ステータス レポートがポートレットに表示されることを意味します。	R
ステータス レポート 欠如	ポートレット	ポートレットには、プログラムを含めるためにフィルタ オプションがあります。既定では、このフィルタ オプションは [はい] に設定されており、プログラム 欠如ステータス レポートがポートレットに表示されることを意味します。	R

名前	タイプ	説明	アクション
遅延タスクとマイルストーン	ポートレット	[タスク ID] 列の「[プロジェクト WBS] ページ」へのリンクは、ポップアップとしてではなく同じウィンドウ内で Clarity ガントを開き、戻りのナビゲーションパスを失うため、削除されました。	R
プロジェクトライフサイクルのレビュー	ポートレット	ポートレットには、プロジェクトによる二次ソートが含まれるようになりました。	R
月別リソース稼働率パーセント	ポートレット	CA Clarity PPM でロケールを設定を変更しても、ポートレットでは正しくフォーマットされた期間が表示されます。	R
メジャープロジェクトテンプレート方法論	プロジェクト	アップグレード中にリソースが重複する可能性を回避するため、テンプレートを更新する前にチームメンバーを削除するようにテンプレートが変更されました。	R
メジャープロジェクトテンプレート	プロジェクト	アップグレード中にリソースが重複する可能性を回避するため、テンプレートを更新する前にチームメンバーを削除するようにテンプレートが変更されました。	R
メジャープロジェクトの作成プロセス	プロセス	プロセスの名前が、"メジャー IT プロジェクトの作成プロセス" から "メジャープロジェクトの作成プロセス" に変更されました。説明の名前が、"メジャー IT プロジェクトテンプレートでプロジェクトを作成する" から "メジャープロジェクトテンプレートでプロジェクトを作成する" に変更されました。	R
PMO アイデア作成者	グループ名	グループには、アイデアでの会計設定を表示し編集するための新しいアクセス権が含まれます。	R
PMO アイデアレビュー担当者	グループ名	グループには、アイデアでの会計設定を表示し編集するための新しいアクセス権が含まれます。また、アイデアでの会計計画を編集、承認要求、承認するためのアクセス権も含まれます。	R
PMO 投資作成者	グループ名	グループには、アイデアでの会計設定を表示および編集するための新しいアクセス権と、アプリケーション、資産、製品、サービス、その他の作業投資での会計設定を表示および編集するための既存のアクセス権が含まれます。	R

名前	タイプ	説明	アクション
PMO 投資ビュー ア拡張	グループ 名	グループには、アイデアでの会計設定および会計計画を表示するための新しいアクセス権が含まれます。	R
PMO リソース マ ネージャ拡張	グループ 名	"キャパシティ計画概要" の "ページ - 表示" 権限が含まれます。	R
ダッシュボード	メニュー	[ダッシュボード] メニュー セクションは、ナビゲーションメニューの最後の [カスタム オブジェクト] セクションの前に表示されるように移動されました。 [ポートフォリオ ダッシュボード] メニュー項目は [ポートフォリオ管理] メニュー セクションから [ダッシュボード] セクションに移動されました。	SR
割り当てオブ ジェクトリスト ビュー	カスタム ビュー	[実コスト] 列は [実コスト (ACWP)] に名前が変更されました。	O
利益計画詳細オ ブジェクトリス ト ビュー	カスタム ビュー	[計画] 列は、[利益合計] に名前が変更されます。[達成] 列は、[達成利益] に名前が変更されます。[差異] 列は、[利益差異] に名前が変更されます。 以下の属性はビューに表示されませんが、やはり名前が変更されます。[合計請求利益] は [請求利益合計] に名前が変更され、[実際利益合計] は [達成利益合計] に名前が変更されます。 集計行も名前が変更されます。[計画] は [利益] に、[達成] は [達成利益] に、[差異] は [利益差異] に変更されます。	O
利益計画詳細オ ブジェクトフィ ルタ ビュー	カスタム ビュー	以下の属性はビューに表示されませんが、名前が変更されます。[合計請求利益] は [請求利益合計] に、[実際利益合計] は [達成利益合計] に、[合計利益] は [利益合計] に変更されます。	O

名前	タイプ	説明	アクション
コスト計画詳細 オブジェクト リ スト ビュー	カスタム ビュー	「計画」列は「コスト」に名前を変更され、列として はビューから削除されます。ただし、時間スケール値 としてビューに表示されます。「合計コスト」列は「コ スト合計」に名前が変更され、ビューに追加されます。 「実績値」列は「実コスト」に名前が変更されます。「差 異」列は、「コスト差異」に名前が変更されます。 以下の属性はビューに表示されませんが、やはり名前 が変更されます。「収入合計」は「収入合計」に名前 が変更され、「合計ユニット」は「ユニット合計」に 名前が変更されます。	0
コスト計画詳細 オブジェクト フィルタ ビュー	カスタム ビュー	「トランザクション クラス」 フィルタはプルダウンか ら参照に変更されます。	0
コスト計画詳細 オブジェクト - 予算フィルタ ビュー	カスタム ビュー	「トランザクション クラス」 フィルタはプルダウンか ら参照に変更されます。	0

名前	タイプ	説明	アクション
アイデア オブジェクト プロパティ ビュー	カスタム ビュー	CA Clarity PPM リリース 13.3 のアイデアには新しい [会計] サブページ (ID : npiofinproperties.ideaCreate) があるので、[設定] サブページ (ID : idea.cop.settings) は PMO アドインインストーラから削除されました。 PMO アドインインストーラでは、この [会計] サブページが [設定] に名前を変更されます。これは、PMO アドインインストーラが [会計] サブページを [設定] に名前変更する他のすべての投資タイプと一致しています。 アップグレードするカスタマは、アイデアに 2 つのサブページ [設定] と [会計] が表示されます。[設定] サブページ (ID : idea.cop.settings) を削除し、[アイデア オブジェクト プロパティ ビュー] 項目を [アドイン詳細] ページから適用する必要があります。この項目を適用すると、[会計] サブページの名前が [設定] に変更され、元の [設定] サブページにあって削除されたフィールドが追加され、CA Clarity PPM リリース 13.3 のアイデアで利用可能な新しい会計フィールドが追加されます。 [アイデア設定] サブページで利用可能な新しい会計フィールドは次のとおりです：請求通貨コード、部門、場所、財政状態、コストタイプ、労働トランザクション速度とコストソースマトリクス、資材トランザクション速度とコストソースマトリクス、備品トランザクション速度とコストソースマトリクス。	0
関連問題リスト ビュー	カスタム ビュー	ビューは、最初に [解決予定日] の昇順でソートされ、次に [リスク名] でソートされるように変更されました。	0
関連リスク リスト ビュー	カスタム ビュー	ビューは、最初に [解決予定日] の昇順でソートされ、次に [リスク名] でソートされるように変更されました。また、列 [しきい値を超過しています] は、リスク リスト ビューと一致するように [しきい値超過] に名前が変更されます。	0
プロジェクト オブジェクト プロパティ ビュー	カスタム ビュー	[プログラム要約] サブページは、[作業ステータス] および [ステータス レポート] ルックアップ フィールドを含むように変更されました。	0

名前	タイプ	説明	アクション
ガント リスト ビュー	カスタム ビュー	〔実コスト〕 列は〔実コスト (ACWP)〕 に名前が変更されました。〔期間〕 フィールドは、CA Clarity PPM リリース 13.3 で実装されたルールに従ってガント ビュー内で編集できるようになりました。	O
プロジェクトの 利害関係者	ルック アップ	このルックアップはリソース レベルセキュリティを含むように変更されました。ルックアップは現在〔アドインの詳細〕 ページに含まれるので、CA Clarity PPM に変更を適用できます。	R